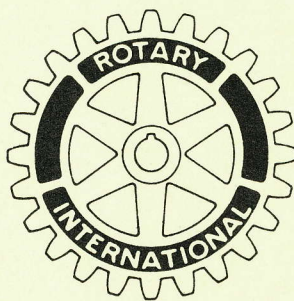


1984～1985年度

クラブ活動計画書

昭和59年7月



R. I. 第259区

大和中ロータリークラブ

会長 猪熊 唯夫 幹事 伊藤 英夫

1984～1985年度

クラブ活動計画書

昭和59年7月

1984～85年度

カルロス・カンセコ

R.I.会長テーマ

Discover

a

New World of Service

みつけよう 奉仕の新生面

大和中ロータリークラブ猪熊唯夫会長テーマ

見なおそう、出席、親睦

そして奉仕を…

大和中ロータリークラブ

会長 猪熊唯夫

事務所 大和市商工会館内

電話 (63)7926

幹事 伊藤英夫

例会場 八千代信用金庫大和支店

電話 (64)3654

クラブ活動計画書

目 次

本年度の運営方針	3
会 務 報 告	5
大 和 市 略 図	8
会 計	9
委員会計画	
クラブ奉仕委員会	12
(イ) 出 席 委 員 会	13
(ロ) 職 業 分 類 委 員 会	14
職業分類一覧表	15
(ハ) クラブ会報委員会	19
(ニ) 親 睦 活 動 委 員 会	20
(ホ) 雑 誌 委 員 会	21
(ヘ) 会 員 選 考 委 員 会	22
(ト) 会 員 増 強 委 員 会	23
(チ) プ ロ グ ラ ム 委 員 会	24
年間プログラム予定表	25
(リ) 広 報 委 員 会	30
(ヌ) ロータリー情報委員会	31
(ル) スマイルボックス委員会	32
S. A. A.	33
国際奉仕委員会	34
ロータリー財団委員会	35
米山記念奨学委員会	36
職業奉仕委員会	37
社会奉仕委員会	38
青少年奉仕委員会	39
(別表) (1) 大和中ロータリークラブ会員名簿	40
(2) 理事・役員・委員会一覧表	44
(3) 歴年会務分担表	45
(4) 大和中ロータリークラブ慶弔規定	51
(5) 大和中ロータリークラブ電話連絡網	52

本年度の運営方針

会長 猪熊 唯夫

“ 見なおそう

出席、親睦

そして奉仕を……”

ロータリークラブの発展に欠く事の出来ない基盤となる二本柱に、出席と親睦があります。

和やかな雰囲気の良い例会に100%出席し、親睦を深めていったならば必ずその中から素晴らしい奉仕の条件が生まれてくるものと確信いたします。その意味でもう一度原点を見直し、足もとを見つめて、一人でも多く良き仲間を増強し名実ともに創立7年目のラッキーな年度としたいものです。

3つの重点方針

1. “出席は義務である”の考え方をやめて“出席の権利がある”との考え方に立って100%例会出席を推奨しよう。
2. 会員がお互いに心の窓を開き、仲間同志何の遠慮もなく、ぶちまけた話が出来るとような、真からの親睦活動を展開していきたい。
3. ロータリークラブのマナー化を防ぐために、又クラブの活性化を図るためには、常にクラブに新風を送りこむことが大切だと思います。
そのため**会員増強**は絶対必要であるので、退会者を防ぐ面と新規増強の二面作戦で増強につとめたい。

幹事 伊藤英夫

会長テーマである“見なおそう出席、親睦、そして奉仕を”をモットーに会員に徹底してもらい、ホームクラブへの出席を促し、各委員会活動を強力にし、親睦を深め人となりの理解を増す事により真の奉仕が生まれてくるものと思われます。

歴代幹事が残された功績を大切にしながらも7年目という幼年期から少年期への移行時期にあることを心におき気持ちを新たに於て会の運営に當っていきたくて思ひます。

特に新会員の方には、早くうちとけてもらえよう充分に気を配り、家族同志のお付き合ひも増せるよう会員に協力していただきたくて思ひます。

会 務 報 告

幹 事 伊 藤 英 夫
副幹事 近 藤 富 士 男

1. クラブの沿革

創 立 総 会 昭和53年5月9日 於大和市商工会館三階
 R・I・承 認 昭和53年6月23日
 チャーターナイト
 (認証状伝達式) 昭和54年4月22日 於厚木基地
 スポンサークラブ 大和ロータリークラブ
 特 別 代 表 星 幸 男 氏
 ガバナー 細 谷 実 氏
 チャーターメンバー
 (創立会員) 23名
 区 域 限 界 大和市全域 (別紙)
 事 務 所 大和市商工会館2階
 電 話 (63)7926
 例 会 場 ◦昭和53年5月9日～昭和56年6月30日
 大和市商工会館3階会議室
 ◦昭和56年7月1日～
 八千代信用金庫大和支店4階会議室
 電 話 (64)3654

2. 会員の種類

正 会 員 45名
 アディショナル正会員 0名
 シニアアクチブ会員 0名
 名 誉 会 員 0名

3. 区域内人口、会員数、出席率、ビジター及びゲスト数、入会金 年会費一覧表

年 度	人 口 (人)	会 員 数 (年度初め)	平均出席率	ビジター及 びゲスト数	入 会 金	年 会 費
昭和53年	159,718	23名	100%	(含仮クラブ) 80名	100,000円	168,000円
53年～54年	159,963	22名	99.76%	484名	100,000円	168,000円
54年～55年	164,748	28名	98.12%	496名	100,000円	168,000円
55年～56年	167,318	30名	98.59%	532名	100,000円	168,000円
56年～57年	169,530	40名	99.96%	519名	100,000円	168,000円
57年～58年	171,440	42名	99.1%	519名	100,000円	168,000円
58年～59年	173,338	49名	99.27%	548名	100,000円	168,000円
59年～60年	174,497	45名			100,000円	168,000円

4. 会員状況

a) 会員名簿一覧表 別表(1)

b) 会員年齢構成 (59年7月1日現在)

30才台	3名		
40才台	20名	最 高	70才
50才台	16名	最 少	34才
60才台	5名	平 均	49.9才
70才台	1名		
計	45名		

c) クラブ在籍年数 (59年7月1日現在)

1年未満	2名	6年以上	13名
1年以上	11名		
2年以上	2名		
3年以上	8名		
4年以上	1名		
5年以上	8名	計	46名

d) 100%出席会員数 (59年7月1日現在)

6年間 11名 (藤田、長谷川、猪熊、伊藤(英)、亀谷、北砂、松本(忠)
大高、寺田、土屋、上田(利))

5年間 7名 (富沢、辻、近藤、石渡、有沢、竹之内、布施)

5. 理事、役員、委員会構成メンバー (別表(2))

6. 理事会、例会及び委員会

毎月第2例会後に定例理事会を開催する他、必要に応じて随時開催する。

例会は毎週木曜日午後12時30分より開催するが、時により変更する。

尚、国の定めた祝祭日及び正月三ケ日は休会とする。

各委員会は、活動打合せのため適時委員会を開催する。

7. クラブアッセンブリー

新年度 1月中

地区大会後 I. G. F. 後

カバナー公式訪問2週間前 年度末

カバナー公式訪問時

8. ロータリー財団

○当クラブの**ポールハリス・フェロー**は (取得順)

- | | | |
|-------------|--------------|---------------|
| 1. 亀谷 志郎 君 | 7. 富沢 重徳 君 | 13. 松本 三郎 君 |
| 2. 寺田 伍六 君 | 8. 布施 光雄 君 | 14. 松本 忠明 君 |
| 3. 故矢野 久元 君 | 9. 細野 順造 君 | 15. 有沢 昭二 君 |
| 4. 長谷川 清一 君 | 10. 竹之内 弘美 君 | 16. 石渡 みよ子 夫人 |
| 5. 芦田 敬治 君 | 11. 保田 達 君 | 17. 猪熊 唯夫 君 |
| 6. 伊藤 正男 君 | 12. 鈴木 久次郎 君 | |

○**準フェロー**は

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 藤田 重成 君 | 4. 伊藤 英夫 君 | 7. 池田 武和 君 |
| 2. 辻 国明 君 | 5. 三浦 泰之 君 | 8. 小島 健一 君 |
| 3. 北砂 富三 君 | 6. 古木 勝治 君 | 9. 上田 利久 君 |

○新入会時13ドル、会員1人当り3ドルの追加寄付をする。

9. 米山記念奨学会

当クラブの**米山功労者**

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 有沢 昭二 君 | 3. 寺田 伍六 君 | 5. 橋本 健彦 君 |
| 2. 郡司 守 君 | 4. 布施 光雄 君 | 6. 大高 安男 君 |

10. 歴年会務分担表 (別表(3))

11. 大和中ロータリークラブ慶弔規定表 (別表(4))

12. 大和中ロータリークラブ電話連絡網 (別表(5))

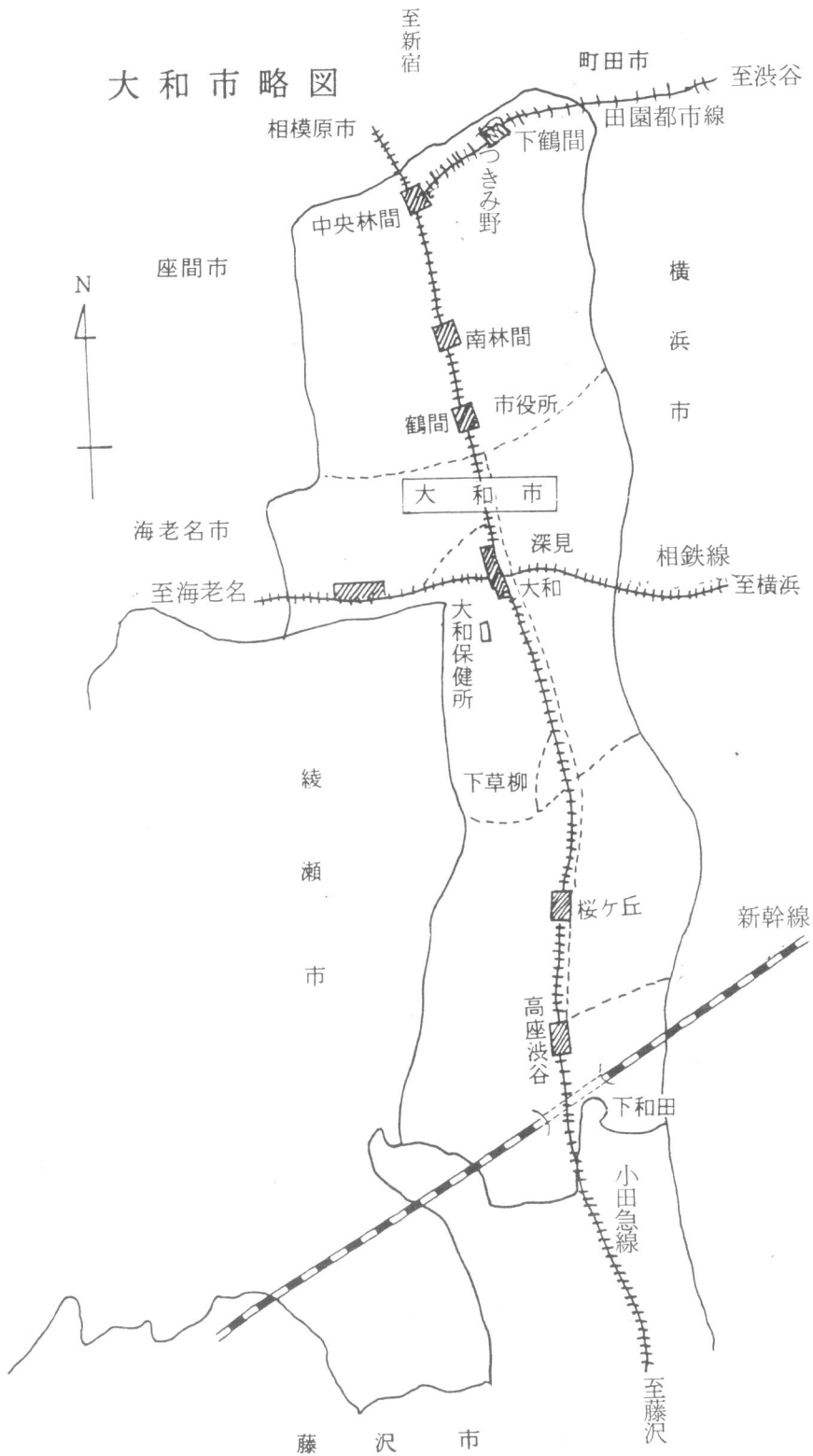
13. 歴代ガバナー会長・幹事名

年 度	ガバナー	会 長 名	幹 事 名
昭和53年 (1978)	細谷 実 (藤沢北)	故矢野 久元	長谷川 清一
53年～54年 (1978～1979)	蔵 並定 男 (鎌倉)	故矢野 久元 蜂屋 良平	長谷川 清一
54年～55年 (1979～1980)	伊藤 茂 (相模原中)	芦田 敬治	北砂 富三
55年～56年 (1980～1981)	加藤 進治 (横浜)	亀谷 志郎	富沢 重徳
56年～57年 (1981～1982)	渡辺 嘉造伊 (川崎南)	伊藤 正男	辻 国明
57年～58年 (1982～1983)	加藤 宗兵衛 (伊勢原)	寺田 伍六	(郡司 守明)
58年～59年 (1983～1984)	加島 淳 (横浜磯子)	長谷川 清一	古木 勝治
59年～60年 (1984～1985)	津田 進 (川崎北)	猪熊 唯夫	伊藤 英夫

14. 姉妹クラブ

大韓民国東慶州 R. C. 昭和58年5月15日締結

大和市略図



会 計

南 川 忠 常

1. 当クラブの入会金は100,000円とし、入会承認と同時に納入しなければならない。
2. 当クラブの会費は年額168,000円とし、年2回（7月1日、1月1日）に分け、84,000円あて納入しなければならない。
但し、例会の食事代はこの中に含まれる。
3. 当クラブの1984～1985年度会計予算は、別表の通り編成する。

1984～1985年度一般会計予算表

(昭和59年7月1日～60年6月30日)

(単位円)

科 目		予 算 額
収入の部	年会費	8,148,000
	ビジネス会費	500,000
	雑収入	451,500
	前年度繰越金	30,000
	収入の部合計	2,291,498
支出の部	例行事務	3,248,000
	交際費	1,000,000
	贈答費	100,000
	通信費	75,000
	印刷費	85,000
	文書用具費	250,000
	備品費	370,000
	会長・幹事会費	70,000
	クラブ協議会費	100,000
	慶弔費	280,000
	雑費	150,000
	借入金	100,000
	雑費	204,000
	雑費	100,000
	クラブ運営費会計	6,152,000
	親睦活動	300,000
	出席誌	250,000
	クラブ会報	140,000
	社員拡大報	1,000,000
	広報報	150,000
	プログラム	300,000
	ロータリー情報	80,000
クラブ奉仕合計	2,115,000	
地区費	644,800	
地区大会分担金	230,000	
地区協議会費	63,000	
IGF負担金	255,000	
地区費合計	1,192,800	
R I 負担金	230,000	
人頭分担金	230,000	
奨学資金	145,500	
ロータリー財団寄付	145,500	
入会時13ドル寄付	33,000	
R I 負担金合計	16,000	
予備費	424,500	
予備費	1,536,698	
支出の部合計	11,420,998	

1984～1985年度奉仕会計予算表

(昭和59年7月1日～60年6月30日)

(単位円)

科 目		予 算 額	
収 入 の 部	スマイル	1,400,000	
	バザール		
	チャリティー		
	前年度繰越金	772,146	
収入の部合計		2,172,146	
支 出 の 部	社会奉仕	社会奉仕	450,000
		青少年奉仕	200,000
		社会奉仕合計	650,000
	職業奉仕	50,000	
	国際奉仕	300,000	
	スマイル記念品代	275,000	
	予備費	897,146	
支出の部合計		2,172,146	

ク ラ ブ 奉 仕 委 員 会

委 員 長 藤 田 重 成

副委員長 上 田 利 久

委 員 富 沢 重 徳

会長の重点方針である出席、親睦そして会員増強はクラブ奉仕委員会の責任である。三委員会を軸として関連委員会が協力をし、みんなで盛り上げる協調の雰囲気づくりにつとめる。炉辺会合や円卓会議を通じて活動の円滑化を図り、又負担のバランスを見直すことを試みたい。

より深いロータリーの認識と、より楽しいロータリークラブライフのため各委員会の気配りにより高い指導者や有識者の卓話を聴こう。

1. 例会やその他の会合への出欠はクラブの明暗に影響する。欠席を阻止する友情をクラブにみなぎらせたい。
2. 親睦こそクラブの誇れる特徴でありエネルギーである。
奉仕のギア-を回転させるため、みんなで頑張ろう。
3. 積極的会員増強をはかり、更に新会員への早期融和を促進するため各委員会は一層の気配りと連携を以ってのぞめるよう協力と援助の活動をしていきたい。

(イ) 出席委員会

委員長 松崎正実

副委員長 古川 巖

委員 松本忠明

従来の高出席率を維持するように努力し、会長方針に従い「出席する権利」を会員各位に推奨し、出席率の向上をより目指したいと考えます。

全員で皆出席の快感を味わいたいと思いますので御協力をお願い致します。

- ① 新会員の方のために出席に関する説明会の実施
- ② クラブ表彰規定による皆出席者の表彰
- ③ 例会日臨時変更に伴うメイクアップの説明の実施
- ④ 特別行事への参加の奨励
- ⑤ 毎月の出席率とホームクラブ出席率の提示

(ロ) 職業分類委員会

委員長 ①有 沢 昭 二

副委員長 ②南 川 忠 常

委員 ③神 作 彰

大和市の地域社会に於ける相異った実業及び専門職業の代表をすべて網羅した。効果的で活動的なクラブをつくるために、現在ある職業分類一覧表を再検討する。

又機会があるごとに充填及び未充填を明確にして会員に発表し、会員増強委員会との連絡を密にして、入会をすゝめるための手段を提供し、又退会者のあとの充填をはかるための一助としたい。

更に流動的な社会の動きに適応して適時職業の補充を行なう。現在、充填46未充填41である。

現在の職業分類一覧表は次の通りである。

職業分類一覽表

職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
外 科 医	芦 田 敬 治	芦 田 医 院
内 科 医	有 沢 昭 二	大 和 診 療 所
小 児 科 医	上 田 利 久	ウ エ ダ 小 児 科
産 婦 人 科 医		
耳 鼻 科 医		
眼 科 医		
歯 科 医		
獸 医	松 崎 正 実	つ き み 野 松 崎 動 物 病 院
内 科 病 院	亀 谷 志 郎	亀 谷 内 科 病 院
医 薬 品 製 造	土 屋 翁 三	サ ン 葉 品 工 業 (株)
医 薬 品 販 売		
乳 製 品 販 売		
ペ ッ ト 販 売		
衣 料 品 販 売		
呉 服 販 売		
男 子 服 製 造	前 原 一 男	(有) ア ロ - テ ラ -
百 貨 店	伊 藤 宣 男	(株) 浜 屋 百 貨 店
寝 具 販 売	猪 熊 唯 夫	(資) イ ノ ク マ 寝 具 店
家 具 販 売		
超 硬 金 型 製 造		
印 刷 機 械 組 立	後 藤 定 毅	(有) 藤 工 業 所
印 刷 業		
商 業 銀 行		
信 用 金 庫	南 川 忠 常	八 千 代 信 用 金 庫 大 和 支 店

職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
損 害 保 険 生 命 保 険	北 砂 富 三	ローリンズ・ヒース・ジャパン(株)
貴 金 属 時 計 販 売		
電 子 機 器 部 品 加 工	竹之内 弘 美	(有) 吹 上 製 作 所
音 響 製 品 組 立	小 島 健 一	小 島 産 業 (株)
電 気 工 事	古田土 勝 美	聖 徳 電 気 工 業 (株)
家 庭 用 電 気 器 具 販 売	岡 本 重 之	や ま と 家 電 (株)
電 気 部 品 製 造		
プ ロ パ ン ガ ス 販 売	松 本 三 郎	(有) 松 本 プ ロ パ ン
石 油 卸 業	神 作 彰	石 井 石 油 (株)
給 食		
清 酒 販 売	伊 藤 英 夫	カ ギ サ ン 酒 店
清 涼 飲 料 販 売	鈴 木 久 次 郎	(有) 鈴 久 酒 店
和 風 レ ス ト ラ ン	石 渡 英 二 郎	鮎 忠 大 和 店
洋 風 レ ス ト ラ ン		
家 庭 金 物 販 売		
郵 便 事 業	古 木 勝 治	中 央 林 間 駅 前 郵 便 局
為 替 事 業	高 橋 政 勝	大 和 上 草 柳 郵 便 局
洋 菓 子 製 造	松 本 忠 明	(有) チ ロ ル
和 菓 子 製 造		
経 営 コ ン サ ル タ ン ト	長 谷 川 清 一	長 谷 川 経 営 コ ン サ ル タ ン ト 事 務 所
税 務 代 理	菊 地 康 公	菊 地 康 公 事 務 所
司 法 書 士		
不 動 産 賃 貸	富 沢 重 徳	と み ざ わ ビ ル (株)
不 動 産 管 理	近 藤 富 士 男	(株) 近 藤 商 事
不 動 産 鑑 定 士	種 ヶ 島 実	種 ヶ 島 不 動 産 鑑 定 事 務 所
貸 倉 庫		

職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
農 業		
園 芸		
冷 暖 房 空 調 設 備		
建 築 設 計	金 井 大 輔	(有)カナイ興業一級建築士事務所
鉄 骨 建 築	藤 田 重 成	(有) 藤 田 工 務 店
木 造 建 築	大 高 安 男	(有) 進 栄 建 設
土 木 業	寺 田 伍 六	(株) 寺 田 土 木
舗 装 工 事		
建 築 材 料 販 売	中 西 功	(有) 中 西 商 店
建 築 材 料 輸 入	布 施 光 雄	西 友 商 事 (株)
ガラスサッシュ販売		
生コンクリート製造	細 野 順 造	(有)細野コンクリート
コンクリート製品製造		
水 道 工 事		
環 境 設 備 工 事		
陸 上 輸 送 業		
貨物自動車運転台製造	清 水 洋 三	車 体 工 業 (株)
自 動 車 販 売	原 田 穆	湘南いすゞモーター(株)
自 動 車 修 理		
内 燃 機 関 製 造		
貸 渡 自 動 車 業		
重 機 リ ー ス 業		
軽 車 両 リ ー ス 業		
コンピューターシステム	辻 国 明	(株)日本コンピューターユーセイジ
プラスチック工業	橋 本 健 彦	東京エンジニアリング(株)
厚 鋼 板 加 工		
板 金 打 貫 加 工		

職 業 分 類	現 会 員 名	事 業 所 名
建 築 物 塗 装 業	上 村 幹 雄	(有) ウ エ ム ラ 塗 装 店
自 転 車 販 売 業	長 野 俊 八	サイクルセンターナガノ
食 料 品 販 売	古 川 巖	セブンイレブン鶴間店
果 樹 栽 培	二 見 長 幸	二 見 園
学 習 塾 経 営		
特 殊 技 能 学 校		
仏 教		
事 務 用 品 販 売		
旅 行 幹 旋	山 中 忠 誠	(有) 大 和 旅 行 セ ン タ ー

充 填 職 業 4 6

未 充 填 職 業 4 1

(ハ) クラブ会報委員会

委員長 松本三郎

副委員長 上村幹雄

委員 伊藤宣男

〔クラブ会報委員会の任務〕

興味をひきおこして出席の改善をはかり、近づく例会のプログラムを発表し、前回の例会の重要事項を説明し、親睦を増進し、全会員のロータリー教育に寄与し、クラブやその会員の情報を正しく収集し、そして世界ロータリー・プログラムに関するニュースを報道すること。

(編集方法)

- ① クラブ会長の運営方針（出席・親睦・増強）にそって、正確且つ興味ある紙面を編集していく。
- ② 正確な伝達を保つためには、編集上の時間的ロスを除くために、各発言者（会長、幹事、各委員会報告等）に発言内容の原稿、又はメモ等を必ず提出して頂くよう、協力を求める。
- ③ 興味ある記事にするために、会報に載せるニュース源として各会員の個人的記事をメモ等で提出して頂くよう協力を求める。
例えば (a)会員や会員の家族に関する喜び事を。
(b)会員と会員の仲間の事で、会員達に興味ある内容の出来事
(仕事、ゴルフ等でのエピソード)
- ④ ロータリー情報をなるべく多く載せ、ロータリー知識の向上に役立つようにする。
- ⑤ 毎週必ず発行する。そのために編集を助けてくれる人を置く。

(二) 親睦活動委員会

委員長 後藤 定毅

副委員長 原田 穆

委員 岡本 重之

ロータリークラブは、創立者が、他の人との暖かな交際を求めたことから誕生したように、全てのクラブ活動の源泉は、全会員そしてその御家族の親睦融和にあるものと思われま

す。従って、面識と友愛を深められる親睦活動を各委員会と連携をとって行なって参ります。

1. 全家族が積極的に参加出来る楽しい家族会を年3回実施する。
2. ビジターを心から歓迎し、当クラブに対する理解と友情を深めてもらい又きていただけるように心がける。
3. 新会員が早くクラブにとけこめるように気を配り、友情と奉仕が理解出来るように努力する。
4. 会員の各記念日を全会員で心からお祝い出来るようにする。

(ホ) 雑 誌 委 員 会

委員長 長 野 俊 八

副委員長 小 島 健 一

委 員 古 田 土 勝 美

当委員会は、雑誌を広く利用することによって会員の知性を高め、又読者に地域社会の認識が得られるよう次の企画を実施していきます。

1. 会報委員会と連携をとりながら「ロータリーの友」の中から有意義な記事を抜粋し会報に掲載するよう努める。又会員に「ロータリーの友」への投稿を働きかける。
2. 大和市図書館に「ザ・ロータリアン誌」「ロータリーの友」を引続き寄贈し、機関雑誌を通じて地域社会への浸透をはかり読者の関心を高め広報の一助とする。
3. 当クラブで推薦した財団奨学生、交換学生に「ロータリーの友」を毎月留学先に送付する。
4. 雑誌月間には、ふさわしい有識者に卓話をお願いする。

(ハ) 会 員 選 考 委 員 会

委員長 原 田 穆

副委員長 土 屋 翁 三

委 員 中 西 功

会員の増強を目的とし、次の事項を重点に速やかな審査を行なう。

1. 人格に非難の余地がないか。
2. 所属事業所の評判はどうか。
3. 例会に規則正しく出席出来るか。

(ト) 会 員 増 強 委 員 会

委員長	富 沢 重 徳
副委員長	伊 藤 宣 男
委 員	亀 谷 志 郎
	鈴 木 久 次 郎
	松 本 忠 明

クラブの活性化を図り、クラブに新風を送り込む為にとということで、会員増強が今年度、会長の重点方針の一つに掲げられています。

そこで当委員会もこれに対応すべく、従来の地域割り、班編成、あるいはグループ制等によるやり方を参考にして、今年度は増強委員と全会員をマンツーマンで結ぶ体制を組み、委員会の積極的な働きかけをよりどころに最低10名を目標として足で稼ぐ活動を展開したい。活動の具体的骨子は。

- (1) 増強委員別に担当会員を割り当て、年間スケジュールを組む。
- (2) 各増強委員は担当会員と個別に折衝をして、会員候補をリストアップし、会員と一緒に増強に歩く。
- (3) 3～4ヶ月に一度増強委員会を開催し。
 - ① 増強状況の点検と問題点の討議
 - ② 職業分類・会員選考等との連携事項
 - ③ 幹事・出席・情報・親睦等との調整事項
 - ④ 入会後の同化策

等々について個々に検討を加え、必要があれば理事会へ審議を上提して改善を図る。

(チ) プログラム委員会

委員長	種ヶ島	実
副委員長	金井	大輔
委員	芦田	敬治
	清水	洋三

プログラム委員会は、他の委員会と緊密に協力してプログラムの内容がロータリー奉仕の四部門を例証し、かつ相互に均衡を保たせるよう配慮した。

また、本年は“見なおそう、出席、親睦、そして奉仕を”という会長方針に従い、会員相互の親睦と融和を深めるために、会員各位の卓話は勿論、豊富な経験と知識を有するゲストスピーカーを招き、多彩なプログラムとしたいと願っています。

より充実したものにするために御協力の程をお願いいたします。

年間プログラム予定表

月	日	曜日	時 間	事 項	内 容	担 当	
59年	5	木	12:30	例 会 就任挨拶	「新年度にあたり」 猪熊唯夫会長 伊藤英夫幹事	会 長 幹 事	
		木	18:30	第1回 クラブ協議会 於 鮎忠	「本年度クラブ 活動計画について」		
	7	12	木	12:30	例 会 ゲストスピーカー (理事役員会)	「最近の剣道について」 大和市剣道連盟会長 松島 猛氏	プログラム
	19	木	12:30	例 会 クラブフォーラム	「クラブ奉仕について」 藤田重成君	ク ラ ブ 奉 仕	
	26	木	12:30	例 会 卓 話	「呼吸のしかた」 清水洋三君	プログラム	
8	2	木	12:30	例 会 卓 話	「オレは、チャーターメンバーだ」 芦田敬治君 大高安男君	プログラム	
	9	木	12:30	例 会 ゲストスピーカー (理事役員会)	「職業奉仕について」 地区職業奉仕委員長 吉田貞一郎氏	職 業	
	16	木			家族会（19日）に振替		
	19	日			第1回家族会	新 睦	
	24	木	12:30	例 会 ゲストスピーカー	元建設事務次官 井上孝氏	プログラム	
	30	木	12:30	例 会 卓 話	「21世紀の科学と人間観」 亀谷志郎君	プログラム	
	6	木	12:30	例 会 卓 話	(青少年活動月間) 二見長幸君	青 少 年	

月	日	曜日	時 間	事 項	内 容	担 当
9	13	木	12 : 30	例 会 卓 話 (理事役員会)	「英語 (英会話) に強くなる方法」 北砂富三君	プログラム
	15	土			第 2 5 9 地区年次大会 於 県民ホール	
	16	日				
	20	木		一泊研修会 例 会 第 2 回クラブ協議会	「地区大会を終えて」 於 箱根	幹 事
	27	木	12 : 30	例 会 卓 話	「文明病について」 上田利久君	プログラム
10	4	木	12 : 30	例 会 卓 話	(米山月間・職業奉仕月間) 「米山記念奨学会について」 高橋政勝君	米 山
	11	木	12 : 30	例 会 クラブフォーラム (理事役員会)	「職業奉仕について」 布施光雄君	職 業
	18	木	12 : 30 15 : 30	例 会 第 3 回 クラブ協議会	「ガバナー公式訪問にそなえて」	会 長 幹 事
	25	木	12 : 30	例 会 卓 話	上村幹雄君	プログラム
11	1	木	12 : 30	ガバナー公式訪問 例 会 第 4 回クラブ協議会	会長、幹事との懇談 「津田進ガバナーと共に」	会 長 幹 事
	8	木	12 : 30	例 会 卓 話	(ロータリー財団月間) 辻国明君	ロータリー 財団
	15	木	12 : 30	例 会 クラブフォーラム	「社会奉仕について」 石渡英二郎君	社 会
	22	木	12 : 30	例 会 ゲストスピーカー	「借地、借家について」 弁護士	プログラム
	29	木	12 : 30	例 会 卓 話	「私の活動屋へ半生記」 種ヶ島実君	プログラム

月	日	曜日	時 間	事 項	内 容	担 当
12	6	木	12 : 30	例 会 年次総会		国 際
	8	土	18 : 00		4クラブ合同例会 (ホスト、大和R・C) 於 雅翔	
	13	木			合同例会(8日)に振替	
	20	木	12 : 30	例 会 卓 話	大和市教育委員会 岩崎総務部長	プログラム
	27	木	18 : 30	夜間例会	「半期報告」 伊藤英夫幹事	幹 事
60 年	3	木			祝日休会	
	10	木	12 : 30	例会 挨拶 第5回クラブ協議会	「年頭にあたり」 猪熊唯夫会長 「半期を終えて」	会 長 幹 事
	17	木	12 : 30	例 会 卓 話 (理事役員会)		
	20	日			第2回家族会	親 睦
	24	木			家族会(20日)に振替	
	31	木	12 : 30	例 会 ゲストスピーカー		青少年
	1					
2	7	木			(世界理解月間) IGF(9日)に振替	プログラム
	9	土			第10・11分区IGF(ホスト座間RC) 於：座間鈴鹿明神参集殿	
	14	木		夜間例会 第6回 クラブ協議会	「IGFを終えて」 於 箱根	会 長 幹 事

月	日	曜日	時 間	事 項	内 容	担 当
2	21	木	12:30	例 会 クラブフォーラム (理事役員会)	(ロータリー創立記念日) 「国際奉仕について」 橋本健彦君	国 際
	28	木	12:30	例 会 卓 話		プログラム
3	7	木	12:30	例 会 卓 話	「地代、家賃をめぐる諸問題」 種ヶ島 実君	プログラム
	14	木	12:30	例 会 ゲストスピーカー (理事役員会)	「オリンピック裏話」 赤坂大輔氏	プログラム
	21	木			祝日休会(春分の日)	
	28	木	12:30	例 会 ゲストスピーカー	「日本に留学して」 趙 南元氏	国 際
4	4	木	12:30	例 会 卓 話	(ロータリー雑誌月間)	青少年
	11	木	12:30			
	18	木	12:30	例 会 卓 話		プログラム
	25	木	12:30	例 会 ゲストスピーカー	「日本文学について」 芥川賞作家 笠原淳氏	雑 誌 (長野)
5	2	木	12:30	例 会 卓 話		プログラム
	9	木	12:30	例 会 卓 話 (理事役員会)	クラブ創立記念日	会 長
	16	木	12:30	例 会 卓 話	「次期会長運営方針」 上田利久君	次期会長
	23	木	12:30	例 会 卓 話	「ロータリー情報」 寺田伍六君	ロータリー 情報

月	日	曜日	時 間	事 項	内 容	担 当
5	26	日			第3回家族会	
	30	木			家族会（26日）に振替	
6	6	木	12：30	例 会 ゲストスピーカー		
	13	木	12：30	例 会 卓 話 （理事役員会）		
	20	木	12：30	例 会 第7回 クラブ協議会	「'84-'85年度を終了して」	幹 事
	27	木	12：30	例 会 挨 拶	「1年を顧みて」 猪熊唯夫会長 伊藤英夫幹事	会 長 幹 事

(り) 広 報 委 員 会

委員 長 古田土 勝 美

副委員長 大 高 安 男

委 員 芦 田 敬 治

地域社会にロータリーの向上を図る広報活動を行ないたい。

1. 各奉仕委員会の活動に一人でも多くの会員の参加を呼びかけ、地元地域社会とのつながりを深める。
2. 各奉仕委員会の活動に対して積極的に参加し特に若い世代との交流を持つ。
3. クラブ内で、他の委員会活動に出来るだけ多くの会員の参加を得、広報面からも意見を述べていく。

(ヌ) ロータリー情報委員会

委員長 ①寺田 伍六

副委員長 ②長谷川 清一

委 長 ③猪熊 唯夫

(方 針)

私たちクラブ会員は、ロータリーの精神的基盤とその理念が綱領を基とし、その活動にあたり4つのテストが座有の銘たるべきことを常に自覚すべきであり、それがロータリアンとしての責務であるものと考えます。

又総てのロータリークラブとその会員は、定款と細則を基とする、ロータリー活動の輪の中で、相互に理解が深められ、且つ亦固い有情が培かわれてゆくことは当然の姿と申せましょう。

今期会長の方針である「見なおそう」の指す意途は、前述したロータリーの基本を正しく見なおそうと、会員の個々にその心がけを呼びかけられたものと洞察するものであります。

(実行計画)

- ① 会員候補者への説明資料作成。
- ② 入会者への気配りある情報提供。
- ③ R I、並にクラブとしての重要な、或は新しい情報の周知徹底。
- ④ 会報への記載。
- ⑤ 炉辺会合の企画と実施。

(ル) スマイルボックス委員会

委員長 北 砂 富 三

副委員長 菊 地 康 公

委 員 神 作 彰

本来のロータリーの基本になる個人の真実と奉仕を追求する集がロータリークラブである事は言うまでもないが、その奉仕活動の財務的な基礎となるのがスマイル委員会であると思う。又スマイルとは微笑であり微笑は自分が何にか良い行いをした事、又楽しい事があった事、それを他の皆様方と分ち合うように会員の皆様のご協力を願うようにする事が当委員会の役目だと思ふ。

1. 毎会の例会には必ずと言ってよい程スマイル委員会の役目があるが、スマイルして載いた人はもとより他の会員にも奮起してもらうように勤める。
2. 当クラブでは自分の誕生日、結婚記念日、創業記念日、入会記念日及び妻の誕生日の祝にスマイルをしたり、又各自がお互にお世話になった時、楽しい時に自主的にスマイルをしてもらっているが、その他にも出来得るかぎり委員会として各会員の情報を収集してスマイルをお願いするように努力する。
3. 当委員会内の取り決めとして期間をもって例会で発表する担当を変える予定。(個人々の特徴を活してもらう為)

S. A. A.

委員長 古木勝治
副委員長 近藤富士男
委員 岡本重之

秩序正しく品位あり、しかも能率的なロータリークラブの会合を維持することに助力し、クラブの訪問者および来賓によい印象を与えるよう努力する。

1. 例会定刻前に会場に到着し、準備に遺漏のないようにします。
2. 配席に工夫をし、楽しい気楽な雰囲気の中で例会が進行するように配慮したい。
3. 例会中の私語や雑談に充分注意し、快い例会進行につとめます。
4. 遅刻、早退者に気をつけ、その場で注意させていただきます。
5. 全会員がS. A. AになったつもりでS. A. A.の身になって例会に臨む雰囲気づくりにつとめます。

国 際 奉 仕 委 員 会

委員長 橋 本 健 彦

副委員長 中 西 功

委 員 鈴 木 久次郎

国際奉仕は世界の異った人類間の相互理解を促進し、国際理解、親善、平和をきめ細かに積極的に行なって参ります。

事業、業績の立派な前年度の事業の継承と更に増進をさせます。

国際奉仕委員会の目的は世界的親交の奉仕ですので理想に近づけるよう努力して参ります。

1. 東慶州クラブとの姉妹クラブの連携を深める。
2. インドシナ定住センターの人々の生活安定と日本社会へのとけこみに努力する。
3. 慶州ナザレ園への援助窓口として支援する。
4. 現在受入れ中の青少年交換学生の日本社会の理解を深める援助をする。
5. 中国留学生との相互理解と友支援と中国の理解出来る場を設定する。

(イ) ロータリー財団委員会

委員長 辻 国 明

副委員長 竹之内 弘 美

委 員 細 野 順 造

1. ロータリー財団委員会の任務は、ロータリー財団に関する全ての情報を広め、且これに対する支援を促進し、および諸種のロータリー財団プログラムに対するクラブ・レベルの協力を奨励することにあります。
2. ロータリー財団の目的、世界中のロータリアンが誰でも容易に参加出来る国際奉仕のプログラムとして、国際ロータリーが直営する機構であります。即ち異なる国民間の理解と友好関係を増進し、更に財団の4つのプログラムによって行なわれている。

委員会の任務は、以上の4つのプログラムを全会員に伝えること、積極的参加を促進することおよび財団に対する財団支援を奨励することを中心とするものであります。

- イ. ロータリー財団のことを、クラブ会員と一般地域社会の人々に知らせる機会を作り効果的PRにつとめる。
 - ロ. ロータリー財団奨学生および研究グループ交換チーム、メンバーと機会あるごとに接触を保つよう努力する。
 - ハ. 財団に対する財的支援を引続き奨励する。
 - ニ. クラブ、レベルの財団寄附の推進を図る。
ポールハリスフェロー、準フェローを増やす
随時募金をつのる。
- 各会員の特段のご理解とご協力をお願いいたします。

(ロ) 米山記念奨学委員会

委員長 高橋政勝

副委員長 山中忠誠

委員 菊地康公

この奨学会は30年余も過ぎました。

戦後のアジア諸民族の融和に役立てる目的で主に東南アジア諸国からの留学生に援助するための基金を設定したものであります。

今期は次の三項を設定して積極的に推進を行ないます。

1. 米山記念奨学会制度をよく理解し、原点に戻り主旨の徹底を図りたい。
2. この事業の特徴を理解して物心両面の援助を図りたい。
3. 米山功労者及び準米山功労者の推挙を図りたい。

職 業 奉 仕 委 員 会

委員長 布施 光 雄

副委員長 小 島 健 一

委 員 古 川 巖

ロータリー精神に基づき、あらゆる職業が地域社会に貢献していることを深く理解し各会員の協力とご支援をいただき本年度の計画を次の通り設定し実行していきます。

1. 各会員は職業分類により漠然とした職業表示になっておりますので、これを各会員に詳細報告をしていただき小冊子にまとめ会員に配布し、お互の職業を再認識していただき、一層の親密を深める。
2. 職業奉仕の心の目的を初心に戻り、もう一度考え、いかにすればロータリー精神が各職場、職業を通し社会に貢献出来るかを検討し、前委員会の目的を継承していきたい。

社 会 奉 仕 委 員 会

委員長 石 渡 英二郎

副委員長 前 原 一 男

委 長 種ヶ島 実

本年度会長方針「見なおそう出席、親睦、そして奉仕を」を念頭に社会奉仕（福祉）を目的とする事業はクラブ会員の労力を提供する奉仕こそ最も重要な意義がある。ロータリーの理解と活動の為全員の協力を得て我がクラブの社会奉仕活動を推進実施したい。

- (1) 老人福祉大和市内の老人ホームの1日慰問を行う、生きがい事業団の老人激励。
- (2) 市内在住の低所得保護世帯（母子交通遺児を含む）の高校在学の子弟に対する援助を行い教育を通し役に立つ人間作りに協力したい。
- (3) 障害者野外キャンプ等に協力支援。

青少年奉仕委員会

委員長 ①二見長幸

副委員長 ②高橋政勝

委員 ③長野俊八

青少年奉仕委員会には、その性格からして毎年関連した持続的、長期的なプログラム活動が要求されるものと思います。具体的な今年度の事業計画も概むね前年度の事業を引継ぎ踏襲することにより一貫性のある委員会活動を目指したいと考えています。

私達がロータリアンとしてまた子を持つ親として次代を背負う青少年に各自が日常生活を通してどのように接したらよいか心掛けたらよいか、彼等のために何が出来るのか。

例会・クラブフォーラム等を通して全員に考える場を提供し正しい理解と認識を持っていただけるよう啓蒙することを今年度の事業遂行に際しては、絶えず心掛けて行います。

大 和 中 ロ ー タ リ ー

	氏 名	生年月日 入会年月日	職 業 分 類	事 業 所 名	職 名
A	有 沢 昭 二	S 2. 6. 11 S54. 3. 22	内 科 医	大 和 診 療 所	院 長
	芦 田 敬 治	S 2. 12. 12 S53. 6. 23	外 科 医	芦 田 医 院	院 長
F	藤 田 重 成	T 10. 5. 15 S53. 6. 23	鉄 骨 建 築	(有) 藤 田 工 務 店	代表取締役
	古 川 巖	S 11. 9. 17 S57. 8. 26	食 料 品 販 売	セブンイレブン 鶴間店	店 主
	古 木 勝 治	S 11. 8. 2 S54. 10. 18	郵 便 事 業	中央林間駅前郵便局	局 長
	布 施 光 雄	S 7. 11. 23 S54. 5. 10	建 築 材 料 輸 入	西 友 商 事 (株)	代表取締役
	二 見 長 幸	S 22. 2. 18 S55. 10. 30	果 樹 栽 培	二 見 園	園 主
G	後 藤 定 毅	S 18. 6. 11 S55. 7. 10	印 刷 機 械 組 立	(有) 藤 工 業 所	代表取締役
H	原 田 穆	S 6. 12. 21 S57. 11. 18	自 動 車 販 売	湘南いすゞモーター(株)	取締役社長
	長谷川 清 一	T 14. 7. 12 S53. 6. 23	経 営 コ ン サ ル タ ン ト	長谷川経営コンサルタント 事務 所	所 長
	橋 本 健 彦	S 12. 8. 8 S56. 7. 16	プ ラ ス チ ッ ク 工 業	東京エンジニアリング(株)	代表取締役
	細 野 順 造	T 11. 4. 28 S55. 10. 2	生 コ ン ク リ ー ト 製 造	(有) 細 野 コ ン ク リ ー ト	取締役会長
I	猪 熊 唯 夫	T 14. 9. 12 S53. 6. 23	寝 具 販 売	(資) イ ノ ク マ 寝 具 店	代表社員
	石 渡 英 二 郎	T 10. 2. 6 S54. 1. 18	和 風 レ ス ト ラ ン	鮎 忠 大 和 店	代表取締役
	伊 藤 英 夫	S 13. 3. 18 S53. 6. 23	清 酒 販 売	カギサン酒店	店 主
	伊 藤 宣 男	S 11. 6. 11 S55. 9. 11	百 貨 店	(株) 浜 屋 百 貨 店	代表取締役
K	亀 谷 志 郎	T 11. 12. 14 S53. 6. 23	内 科 病 院	亀 谷 内 科 病 院	院 長
	神 作 彰	S 19. 3. 6 S58. 3. 3	石 油 卸 業	石 井 石 油 (株)	専務取締役
	金 井 大 輔	S 12. 11. 16 S58. 3. 31	建 築 設 計	(株) カ ナ イ 興 業 一 級 建 築 士 事 務 所	所 長
	菊 地 康 公	S 11. 10. 25 S57. 8. 26	税 務 代 理	税 理 士 菊 地 康 公 事 務 所	所 長
	北 砂 富 三	S 7. 7. 20 S53. 6. 28	損 害 保 険	ローリンズヒースジャパン(株) 相 模 原 支 店	支 店 長
	古 田 土 勝 美	S 19. 5. 14 S56. 6. 18	電 気 工 事	聖徳電気工事(株)大和営業所	所 長
	近 藤 富 士 男	S 14. 1. 1 S53. 12. 14	不 動 産 管 理	(株) 近 藤 商 事	代表取締役
	小 島 健 一	S 6. 7. 23 S57. 11. 18	音 響 製 品 組 立	小 島 産 業 (株)	代表取締役
M	前 原 一 男	S 16. 9. 28 S58. 5. 12	男 子 服 製 造	(有) ア ロ ー テ ー ラ ー	代表取締役
	松 本 三 郎	S 14. 9. 3 S55. 7. 31	プ ロ パ ン ガ ス 販 売	(有) 松 本 プ ロ パ ン	代表取締役
	松 本 忠 明	S 10. 7. 28 S53. 6. 23	洋 菓 子 製 造	(有) チ ロ ル	代表取締役

クラブ会員名簿

別表 (1)

事業所所在地	電話	自宅住所	電話	☎
大和市中央林間1-17-9	(74)4315	東京都杉並区下高井戸5-7-20	⁰³ (303)7761	168
〃 南林間4-6-7	(74)0906	大和市南林間4-6-7	(74)0906	242
〃 南林間1-5-15	(74)3931	〃 南林間1-5-17	(74)3931	242
〃 鶴間2-14-10	(74)5278	〃 鶴間2-14-1	(74)5544	242
〃 中央林間3-10-15	(74)4213	〃 つきみ野3-3-11	(74)7632	242
〃 桜森2-11-6	(64)1141	〃 桜森2-11-13	(63)0391	242
〃 上草柳5-2-19	(63)3852	〃 上草柳5-2-19	(63)3852	242
〃 桜森2-11-6 <small>西友ビル内</small>	(63)1166	厚木市戸田1086	(28)2157	243
〃 福田5678-1	(67)8811	横浜市旭区笹野台214-5	⁰⁴⁵ (391)5743	241
〃 上草柳3-16-7	(33)5836	大和市上草柳3-16-7	(61)3741	242
綾瀬市早川2605-10	⁰⁴⁶⁷ (76)7781	横浜市港南区日野町1810	⁰⁴⁵ (842)4034	233
大和市下鶴間2837-3	(75)3178	東京都町田市鶴間66	⁰⁴²⁷ (95)2342	194
〃 大和東3-1-20	(61)0653	大和市大和東3-1-20	(61)0672	242
〃 大和東3-1-1	(61)0310	〃 中央3-5-9	(61)2613	242
〃 西鶴間4-7-5	(61)3667	〃 西鶴間4-7-5	(63)3000	242
〃 大和東3-1-2	(61)0459	〃 大和東2-7-32	(61)1263	242
〃 中央林間4-25-17	(73)0430	〃 中央林間4-25-17	(75)5451	242
〃 下鶴間2779	(75)2554	〃 下鶴間2771	(74)1963	242
〃 つきみ野3-18-1	(76)2810	〃 下鶴間1514	(74)5827	242
相模原市富士見5-2-12	⁰⁴²⁷ (56)4305	〃 上草柳2-4-7	(64)3403	242
〃 南台1-18-1	⁰⁴²⁷ (46)1810	〃 南林間5-2-16	(74)1230	242
大和市中央7-16-27	(61)5589	〃 深見539-6	(63)9146	242
〃 中央2-3-1	(61)2233	〃 上草柳1-7-35	(61)5545	242
〃 南林間7-13-14	(76)0033	〃 中央林間2-16-6	(75)5259	242
〃 中央1-2-5	(61)6082	〃 福田2764-4	(67)7066	242
〃 大和東3-15-4	(61)0660	〃 大和東3-15-4	(61)8252	242
〃 大和南1-5-11	(61)6573	横浜市瀬谷区下瀬谷3-28-1	⁰⁴⁵ (301)5206	246

	氏名	生年月日 入会年月日	職業分類	事業所名	職名
M	松崎正実	S25.1.4 S56.12.3	獣 医	つきみ野松崎動物病院	院 長
	南川忠常	S2.5.26 S58.6.9	信 用 金 庫	八千代信用金庫大和支店	支 店 長
N	長野俊八	S9.1.21 S57.9.9	自 転 車 販 売	サイクルセンターナガノ	代表取締役
	中西 功	S20.2.7 S53.8.17	建 築 材 料 販 売	(有) 中 西 商 店	取締役社長
O	岡本重之	S15.4.17 S59.1.5	家庭用電気器具販売	やまと家電(株)	代表取締役
	大高安男	S4.10.20 S53.6.23	木 造 建 築	(有) 進 栄 建 設	代表取締役
S	清水洋三	T3.7.1 S57.6.24	貨 物 自 動 車 運 転 台 製 造	車 体 工 業 (株)	取締役会長
	鈴木久次郎	S8.1.21 S53.12.7	清 涼 飲 料 販 売	(有) 鈴 木 酒 店	代表取締役
T	高橋政勝	S12.8.4 S55.10.30	為 替 事 業	大和上草柳郵便局	局 長
	竹之内弘美	S17.2.22 S54.4.12	電子機器部品加工	(有) 吹 上 製 作 所	代表取締役
	種ヶ島 実	S3.8.13 S58.4.7	不 動 産 鑑 定	種ヶ島不動産鑑定事務所	所 長
	寺田伍六	T10.6.14 S53.6.23	土 木 業	(株) 寺 田 土 木	代表取締役
	富沢重徳	S14.4.8 S53.6.23	不 動 産 賃 貸	とみざわビル(株)	専務取締役
	土屋翁三	S16.5.9 S53.6.23	医 薬 品 製 造	サン薬品工業(株)	専務取締役
	辻 国 明	S9.2.11 S53.7.27	コ ン ピ ュ ー タ ー シ ス テ ム	(株)日本コンピューター ユ ー セ イ	代表取締役
U	上田利久	S4.1.23 S53.6.23	小 児 科 医	ウエダ小児科	院 長
	上村幹雄	S11.8.15 S57.7.15	建 築 物 塗 装	(有) ウ ェ ム ラ 塗 装 店	代表取締役
Y	山中忠誠	S5.4.8 S55.12.18	旅 行 幹 旋	(有) 大 和 旅 行 セ ン タ ー	代表取締役

事業所所在地	電話	自宅住所	電話	☎
大和市つきみ野4-11-14	(75)4556	大和市つきみ野4-11-14	(75)4556	242
〃 大和南1-4-4	(61)3241	東京都国分寺市南町1-6-6	0423 (21)2461	185
〃 南林間1-19-11	(74)4439	大和市南林間1-19-11	(74)4439	242
〃 鶴間2-14-5	(74)9765	〃 鶴間2-14-5	(74)4655	242
〃 大和南1-8-10	(63)2767	〃 深見3209-5	(64)0980	242
〃 中央林間2-13-15	(74)3123	〃 中央林間2-13-15	(74)3123	242
〃 下鶴間3050-1	(61)3111	東京都世田谷区中町4-37-1	03 (701)7496	158
〃 南林間6-11-15	(74)9232	大和市南林間6-11-15	(75)0214	242
〃 上草柳4-3-9	(61)4220	〃 上草柳4-6-4	(61)7685	242
〃 下鶴間2757-1	(61)2616	〃 つきみ野5-12-6	(75)2120	242
〃 中央2-14-27-501	(63)3268	横浜市磯子区東町15-31-910	045 (751)2715	235
〃 上草柳7-8-3	(61)1294	大和市西鶴間4-12-11	(61)1297	242
〃 深見3382	(64)5512	〃 大和南2-4-20	(62)0744	242
〃 深見東1-1-12	(61)3714	〃 深見東1-1-12	(63)6623	242
東京都目黒区上目黒3-2-1 明治生命目黒ビル	03 (791)2571	〃 南林間5-7-27	(74)2983	242
〃 林間2-17-6	(74)6240	〃 林間2-17-6	(75)1540	242
〃 大和東3-15-5	(61)7370	〃 下鶴間2776-1 大和ハイデンス401	(75)7299	242
〃 鶴間1-28-11	(64)3333	〃 西鶴間4-3-7	(61)7110	242

1983～1984年度理事・役員委員会一覧表

別表 (2)

理 事	役 員
猪 熊 唯 夫	会 長 猪 熊 唯 夫
上 田 利 久	会長エレクト 上 田 利 久
藤 田 重 成	副 会 長 藤 田 重 成
橋 本 健 彦	幹 事 伊 藤 英 夫
布 施 光 雄	副 幹 事 近 藤 富 士 男
石 渡 英 二 郎	S. A. A. 古 木 勝 治
二 見 長 幸	会 計 南 川 忠 常

	委 員 長	副 委 員 長	委 員	委 員
ク ラ ブ 奉 仕	藤田 重成	上田 利久	富沢 重徳	松本 忠明 鈴木久次郎 清水 洋三
出 席	松崎 正実	古川 巖	松本 忠明	
職 業 分 類	① 有沢 昭二	② 南川 忠常	③ 神作 彰	
ク ラ ブ 会 報	松本 三郎	上村 幹雄	伊藤 宣男	
親 睦 活 動	後藤 定毅	原田 穆	岡本 重之	
雑 誌	長野 俊八	小島 健一	古田土勝美	
会 員 選 考	原田 穆	土屋 翁三	中西 功	
会 員 増 強	富沢 重徳	伊藤 宣男	亀谷 志郎	
プ ロ グ ラ ム	種ヶ島 実	金井 大輔	芦田 敬治	
広 報	古田土勝美	大高 安男	芦田 敬治	
ロ ー タ リ ー 情 報	① 寺田 伍六	② 長谷川清一	③ 猪熊 唯夫	
ス マ イ ル ボ ッ ク ス	北砂 富三	菊地 康公	神作 彰	
S. A. A.	古木 勝治	近藤富士男	岡本 重之	
国 際 奉 仕	橋本 健彦	中西 功	鈴木久次郎	
ロ ー タ リ ー 財 団	辻 国明	竹之内弘美	細野 順造	
米 山 記 念 奨 学	高橋 政勝	山中 忠誠	菊地 康公	
職 業 奉 仕	布施 光雄	小島 健一	古川 巖	
社 会 奉 仕	石渡英二郎	前原 一男	種ヶ島 実	
青 少 年 奉 仕	① 二見 長幸	② 高橋 政勝	③ 長野 俊八	

歴 年 会 務 分 担 表

別表 (3)

◎委員長 ○副委員長 △委員

会員名	入会年月日	(53年)	(54年)	(55年)	(56年)	(57年)	(58年)	(59年)
		1978~1979	1979~1980	1980~1981	1981~1982	1982~1983	1983~1984	1984~1985
1 芦田 敬治	S53. 6. 23	(理事) ◎職業奉仕 ○社会奉仕	(理事) 会 長	(理事) 副S.A.A. △ロータリー 情報 △職業奉仕	○ロータリー 情報 △国際奉仕	◎ロータリー 情報 △職業奉仕	△会員増強	△プログラム △広 報
2 淡谷 光彦	"	(理事) ○会員増強 ◎ロータリー 財団	退 会 (1978. 12. 21)					
3 藤田 重成	"	◎広 報 ○ロータリー 情報	◎ロータリー 情報 △ロータリー 財団	会 計 ○ロータリー 財団 △クラブ会報	◎会員選考	(理事) ◎社会奉仕 ○米山記念	○広 報	(理事) 副会長
4 郡司 守	"	◎会員増強 ○クラブ 会報	(理事) ◎国際奉仕 △クラブ会報	◎プログラム △出席	副幹事 △プログラム	幹事	退会 (1983. 4. 21)	
5 蜂屋 良平	"	(理事) 副会長 会 長	(理事) △ロータリー 情報	○ロータリー 情報 △国際奉仕	◎ロータリー 情報	△ロータリー 財団	△会員選考	退会 (1983. 7. 14)
6 長谷川清一	"	幹 事	△国際奉仕 S.A.A. ◎ロータリー 財団	○クラブ 会報 △プログラ ム	(理事) ◎職業奉仕 △雑 誌	(理事) 会 長 エレクト	(理事) 会 長 △ロータリー 情報	○ロータリー 情報
7 猪熊 唯夫	"	◎親睦活動 ○職業分類	◎職業分類 △スマイル	(理事) ◎社会奉仕 △会員選考	◎米山記念	(理事) 副会長	(理事) 会長エレクト	(理事) 会長 △ロータリー 情報
8 伊藤 英夫	"	◎出 席 ◎青少年奉仕 △ロータリー 情報	(理事) ◎青少年奉仕 ○ロータリー 情報	◎ロータリー 情報	◎親睦活動 △ロータリー 財団	○社会奉仕 △プログラム	副幹事 副S.A.A.	幹 事
9 亀谷 志郎	"	◎職業分類 ○会員選考	(理事) ◎社会奉仕 △会員選考	(理事) 会 長	(理事) △ロータリー 情報	○ロータリー 情報	◎ロータリー 情報	分区代理 △会員増強
10 北砂 富三	"	◎ロータリー 情報 ○国際奉仕	幹 事	S.A.A. ○会員増強 △ロータリー 財団	◎広 報 △社会奉仕	(理事) ◎国際奉仕 △雑 誌	△会員選考	◎スマイル ボックス
11 小菅兼三郎	"	◎スマイル ボックス ○雑 誌	退 会 (1979. 3. 15)					
12 松本 忠明	"	◎米山記念 ◎75年 ◎親睦活動 ◎スマイル	◎75周年 ○出席 △国際奉仕	◎会員選考	(理事) ◎社会奉仕 △プログラム	○ロータリー 財団 △会員増強	◎会員選考	△出 席 △会員増強

会員名	入会年月日	(53年) 1978~1979	(54年) 1979~1980	(55年) 1980~1981	(56年) 1981~1982	(57年) 1982~1983	(58年) 1983~1984	(59年) 1984~1985
13 宮之原寛一	S53.6.23	会 計 ○ロータリー 財団	退 会 (1979.6.28)					
14 小笠原一四	〃	(理事) ◎社会奉仕	退 会 (1979.1.11)					
15 大高 安男	〃	◎プログラム ○広 報	◎出席 ○75周年	(理事) ◎職業奉仕 △雑 誌	○クラブ 会報	◎会員増強 ○スマイル	◎米山記念	○広 報
16 佐藤 実	〃	(理事) ◎国際奉仕	(理事) 副会長	◎雑 誌	S.A.A.	退 会 (1982.6.24)		
17 須藤 正道	〃	(理事) ◎青少年 奉仕	退 会 (1979.5.17)					
18 寺田 伍六	〃	◎会員選考 ○職業奉仕	(理事) ◎職業奉仕 △会員増強 △75周年	◎会員増強 △親睦活動	(理事) 副会長	(理事) 会 長 △ロータリー 情報	○ロータリー 情報 △国際奉仕	◎ロータリー 情報
19 富沢 重徳	〃	S.A.A. ○出席	副幹事 ◎会員選考 副S.A.A. △出 席	幹 事	副S.A.A.	◎雑 誌 ○クラブ 会報	(理事) ◎職業奉仕	◎会員増強 △クラブ 奉仕
20 土屋 翁三	〃	◎クラブ会報 ○プログラム △青少年奉仕	◎プログラム ○国際奉仕 ○青少年 奉仕	(理事) ◎青少年奉仕 ○出 席	○親睦活動	会 計 副S.A.A.	S.A.A.	○会員選考
21 上田 利久	〃	◎雑 誌 △職業分類	◎クラブ 会報 ○職業分類	(理事) ◎国際奉仕 ◎職業分類	△広 報 △職業奉仕	◎プログラム △出 席	(理事) 副会長	(理事) 会長エンクト ○クラブ奉仕
22 矢野 久元	〃	(理事) 会 長	死 亡 (1979.1.23)					
23 辻 国明	S53.7.27	△親睦活動	会 計 ◎スマイル ○広報	副幹事 ○社会奉仕	幹 事 △青少年 奉仕	S.A.A. ○青少年 奉仕	(理事) ◎青少年 奉仕	◎ロータリー 財団
24 袴田 和雄	S53.8.10	△親睦活動	○プログラム △職業分類	退 会 (1979.10.4)				
25 中西 功	S53.8.17	△親睦活動	◎親睦活動 ○会員増強 ○社会奉仕	◎米山記念 △青少年 奉仕	会 計 ○青少年 奉仕	(理事) ◎青少年 奉仕 ○プログラム	◎出 席	○国際奉仕 △会員選考

	会員名	入会年月日	(53年) 1978~1979	(54年) 1979~1980	(55年) 1980~1981	(56年) 1981~1982	(57年) 1982~1983	(58年) 1983~1984	(59年) 1984~1985	
26	鈴木久次郎	S53.12.7	△親睦活動	◎雑誌 ○ロータリ-財団	◎親睦活動	○会員増強 △国際奉仕	◎ロータリ-財団 △会員選考	(理事) ◎国際奉仕	△国際奉仕 △会員増強	
27	近藤富士男	S53.12.14	△親睦活動	○会員選考 △青少年奉仕	◎出席 ○青少年奉仕 △会員増強	(理事) ◎青少年奉仕 △スマイル	◎広報 ○米山記念	◎会員増強	副幹事 副S.A.A.	
28	石渡英二郎	S54.1.18	△親睦活動	○スマイル △職業奉仕	◎広報 ○職業奉仕 ○雑誌 △職業分類	◎スマイル ○職業分類	◎職業分類 △親睦活動	◎ロータリ-財団	(理事) ◎社会奉仕	
29	木崎 健祐	S54.2.22	△親睦活動	◎会員増強 △親睦活動	○広報 退会(1980.9.11)					
30	有沢 昭二	S54.3.22	△親睦活動	◎米山記念 ○職業奉仕 △国際奉仕	◎クラブ会報	(理事) ◎国際奉仕	○雑誌 △職業分類	◎プログラム ○職業分類	◎職業分類	
31	山田 旭	S54.4.5	△親睦活動	退会(1979.6.30)						
32	保田 達	S54.4.12	△親睦活動	◎広報 ○親睦活動 △プログラム △75周年	◎スマイル ○国際奉仕	◎ロータリ-財団 △職業分類	退会(1982.7.29)			
33	竹之内弘美	〃	△親睦活動	○クラブ会報 ○米山記念	○職業分類 △社会奉仕	◎出席 ◎職業分類	◎米山記念 △親睦活動	○雑誌	○ロータリ-財団	
34	伊藤 正男	S54.5.10	△親睦活動	○雑誌 △米山記念	(理事) 副会長	(理事) 会長	△ロータリ-情報	退会(1983.6.30)		
35	布施 光雄	〃	△親睦活動	△親睦活動	◎ロータリ-財団 ○スマイル	◎会員増強 △出席	○会員選考 △出席	◎広報	(理事) ◎職業奉仕	
36	古木 勝治	S54.10.18		△親睦活動	○親睦活動 ○プログラム	◎クラブ会報	副幹事	幹事	S.A.A.	
37	高山 正雄	S54.10.25		△親睦活動	△親睦活動	退会(1980.10.9)				
38	竹本 健一	S54.12.6		△親睦活動	○会員選考 △親睦活動	◎雑誌 ○職業奉仕	退会(1982.6.24)			

会員名	入会年月日	(53年) 1978~1979	(54年) 1979~1980	(55年) 1980~1981	(56年) 1981~1982	(57年) 1982~1983	(58年) 1983~1984	(59年) 1984~1985
39 後藤 定毅	S 55. 7.10			△親睦活動	◎プログラム ○国際奉仕	◎クラブ 会報 △社会奉仕	会 計	◎親睦活動
40 松本 三郎	S 55. 7. 31			△親睦活動	○プログラム △クラブ会報 △親睦活動	(理事) ◎職業奉仕 △広報	◎スマイル	◎クラブ 会報
41 伊藤 宣男	S 55. 9. 11				○スマイル △会員増強	△会員増強	○プログラム	○会員増強 △クラブ 会報
42 合田 良徳	S 55.10. 2				○米山記念 △クラブ 会報	◎スマイル △社会奉仕	△ロータリ ー財団	退会 (1984. 3.15)
43 細野 順造	〃				○ロータリ ー財団 △社会奉仕	○会員増強 △雑 誌	○会員選考	△ロータリ ー財団
44 二見 長幸	S 55.10.30				○雑 誌 △青少年 奉仕 △米山記念	◎出 席 △青少年 奉仕	○青少年 奉仕	(理事) ◎青少年 奉仕
45 高橋 政勝	〃				○出 席 △ロータリ ー財団	◎会員選考 △青少年 奉仕	(理事) ◎社会奉仕 △青少年 奉仕	◎米山記念 ○青少年 奉仕
46 国方 隆	S55.11. 6				○広 報 △職業奉仕 △会員選考	退 会(1982.5.13)		
47 池田 武和	S55.12.18				○社会奉仕 △親睦活動	○出 席 △スマイル	退 会(1983.6.30)	
48 山中 忠誠	〃				○会員選考 △親睦活動	◎親睦活動 ○職業分類	◎職業分類	○米山記念
49 三浦 泰之	S56. 4. 9				△親睦活動	○国際奉仕 △広 報	△クラブ 会報	退 会 (1984. 3.15)
50 古田土勝美	S56. 6. 18				△親睦活動	○広 報 △国際奉仕	○スマイル △雑 誌	◎広 報 △雑 誌
51 橋本 健彦	S56. 7. 16				△親睦活動	○親睦活動 △プログラム	◎親睦活動 △会員増強	(理事) ○国際奉仕

	会員名	入会年月日	(53年) 1978~1979	(54年) 1979~1980	(55年) 1980~1981	(56年) 1981~1982	(57年) 1982~1983	(58年) 1983~1984	(59年) 1984~1985
52	福本 国雄	S56.11.19				△親睦活動	○職業奉仕 △親睦活動	○クラブ会報 ○ロータリー財団	退会 (1984.2.16)
53	松崎 正実	S56.12.3				△親睦活動	○スマイル △親睦活動	○親睦活動 △社会奉仕	◎出席
54	杉山元次郎	S57.6.24					△親睦活動	◎クラブ会報 ○国際奉仕	退会 (1984.2.23)
55	上田 勝	"					△親睦活動	◎雑誌 △米山記念	退会 (1984.6.28)
56	上村 幹雄	S57.7.15					△親睦活動	○社会奉仕 △スマイル	○クラブ会報
57	三国 誠文	S57.8.5					△親睦活動	退会 (1982.10.14)	
58	菊地 康公	S57.8.26					△親睦活動	○出席 △クラブ会報	○スマイル △米山記念
59	古川 巖	"					△親睦活動	○出席 ○米山記念	○出席 △職業奉仕
60	長野 俊八	S57.9.9					△親睦活動	○会員増強 △職業奉仕	◎雑誌 △青少年奉仕
61	原田 穆	S57.11.18					△親睦活動	△プログラム	◎会員選考 ○親睦活動
62	小島 健一	"					△親睦活動	△広報	○職業奉仕 ○雑誌
63	神作 彰	S58.3.3					△親睦活動	△親睦活動	△職業分類 △スマイル
64	金井 大輔	S58.3.31					△親睦活動	△親睦活動	○プログラム

会員名	入会年月日	(53年) 1978~1979	(54年) 1979~1980	(55年) 1980~1981	(56年) 1981~1982	(57年) 1982~1983	(58年) 1983~1984	(59年) 1984~1985
65 種ヶ島 実	S58. 4. 7					△親睦活動	△親睦活動	◎プログラム △社会奉仕
66 前原 一男	S58. 5.12					△親睦活動	△親睦活動	○社会奉仕
67 南川 忠常	S58. 6. 9					△親睦活動	○職業奉仕 △職業分類	会 計 ○職業分類
68 青木 豊治	S58.12.15						△親睦活動	退 会 (1984. 5.14)
69 岡本 重之	S59. 1. 5						△親睦活動	△親睦活動 △S・A・A-
70 清水 洋三	S59. 3.29						△親睦活動	△プログラ ム

大和中ロータリークラブ慶弔規定

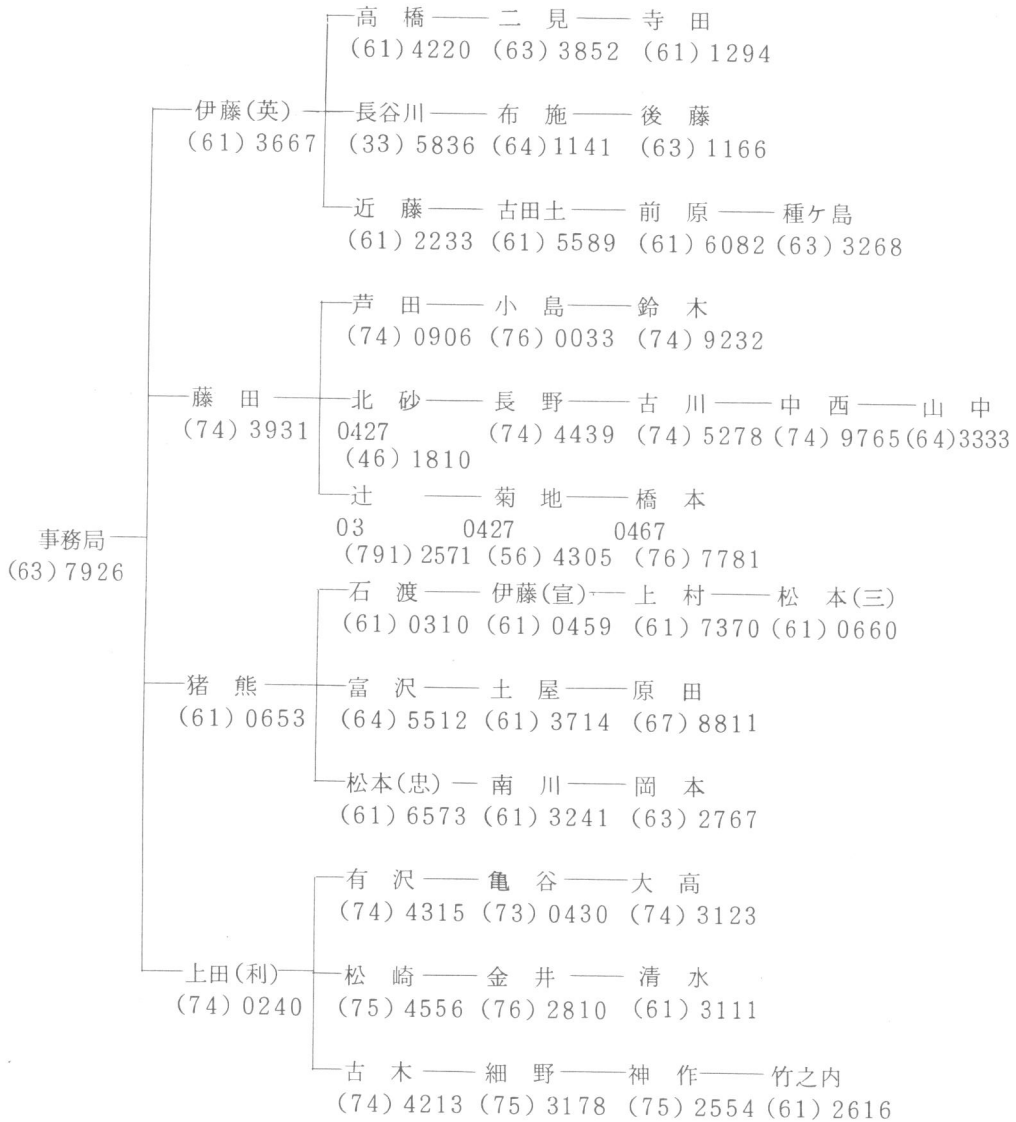
別表 (4)

- 第 1 条 当クラブにおける慶祝金、弔慰金または見舞金の支出についてはこの内規の定めるところによる。
- 第 2 条 慶事の祝金は次の区分とする。
- | | |
|----------------------|---------|
| 1. 本人及びその一等親家族の結婚の場合 | 10,000円 |
| 2. 子出生の祝金 | 5,000円 |
- 第 3 条 弔事の場合の弔慰金は次の区分とする。
- | | | |
|--------------------|--------|---------|
| 1. 本人死亡の場合 | 会員 1 人 | 10,000円 |
| 2. 妻死亡の場合 | 会員 1 人 | 5,000円 |
| 3. 上記以外の一等親家族死亡の場合 | 会員 1 人 | 2,000円 |
- 第 4 条 負傷または罹災の場合の見舞金は次の区分とする。
- | | | |
|---------------------------|---------|---------|
| 1. 負傷または病気により欠席 1 ヶ月以上の場合 | 10,000円 | |
| 2. 火災及び風水害によって被害を受けた場合 | | |
| A 自 宅 | 会員 1 人 | 2,000円 |
| B 会社、工場、店舗など | | 10,000円 |
- 第 5 条 上記以外に必要と認めた場合は理事会の決定による。
- 第 6 条 上記慶弔見舞金に対する返礼は行わない事とする。

(昭和 53 年 8 月 10 日施行)

大和中ロータリークラブ電話連絡網

別表 (5)



[注]

1. 内容を確認して、正確、迅速に伝える。
2. 最後の方は連絡受領の報告を各自の最初の人に受けた内容も含めて連絡して下さい。
3. 番号は事業所のもので、自宅は会員名簿にて参照。